

ふるさと小野町を離れて間もなく56年

さて何から書こうかと迷ったが、第一に衝撃を受けた昨年3月11日の東日本大震災に伴った原発事故だ。被災そのものもだが、風評被害の恐ろしさに考えさせられた。放射能は無色透明無味無臭ゆえに、ただ風評などで恐怖心のみが先立ち、故郷の皆さんは大変ご心配されていることと心よりお見舞い申し上げます。

子どもの頃の思い出は、塩釜神社の中段で三角ベースを近所の仲間と楽しんだこと。ボールもグローブも手作りだった。夏井川での水遊び。川の中に石を積んでせきを作り、泳いだり、浸しがめでのタナゴ取り。かめ一杯に取れたが、今では望めないのだろう。タナゴはつくだ煮にしてもらった(苦くって子どもの口には合わなかった)。今なら酒のさかなに美味かろうに、タナゴも今では貴重魚種になつてしまい、つくだ煮なんてもつての外のことであろう。

塩釜神社のお祭り、大倉獅子、おみこし、出店、お盆のジャンガラ念仏など思い出たくさん故郷です。今の子どもたちにも良い思い出をより多く持つふるさとになつてほしいものです。

食べ物では、砂糖パン、豆腐、支那そばなど、まだまだあります。また戦中戦後の小学校での弁当では、農家の友人は銀飯、町場の月給取りの子どもは芋飯や芋。

いろいろ思い出す機会を頂きありがとうございます。思い出にふけりながら失礼いたします。



和泉 匡哉
(横町出身/千葉支部)

公立小野町地方総合病院からのお知らせ

◎整形外科の医師を紹介します

今回は、当病院の整形外科の診療を担当しています、非常勤医師、川村晴也(かわむらせいや)医師を紹介します。

ですが公立小野町地方総合病院で働かせていただいております。よろしくお願ひします。

〔川村晴也医師の診療日・受付時間〕

■診療科 整形外科

■診療日 毎週金曜日

■受付時間

▽午前の部

午前8時30分から正

午まで

▽午後の部

午後1時30分から午

後2時30分まで



川村晴也医師

はじめまして、平成23年10月から毎週金曜日の診察をしています川村晴也です。私の出身は浜通りで、大熊町で生まれ富岡町で育ちました。地震の時は、富岡町で診療中でしたが、本当に家の前まで津波が来まして、九死に一生を得ました。その後の原発事故もあり、現在も富岡町のクリニックには戻ることができません。今まで富岡町で診察していた患者さんも小野町近くに避難されている方が多く、週に1度と微力